

【韓国】安倍総理の靖国参拝糾弾決議の採択

菊池 勇次

(本稿は、海外立法情報課が執筆を依頼したものである。)

* 2013 年 12 月 31 日、韓国国会本会議において、安倍総理の靖国神社参拝及び集団的自衛権行使容認の動きについて、侵略戦争を美化し、軍国主義復活を図るものとみなし、その中止を求めること等を骨子とする「安倍晋三日本総理の靖国神社参拝糾弾決議」が採択された。

背景と経緯

2013 年 12 月 26 日、安倍晋三内閣総理大臣が現職総理としては小泉総理以来 7 年ぶりに靖国神社への参拝を行った。これに対して韓国政府は、政府報道官である劉震龍（ユ・ジンリョン）文化体育観光部長官が声明を発表し、「過去の植民地支配と侵略戦争を美化し、戦犯たちを合祀している靖国神社を参拝したことについて、我が政府は嘆きと憤りを禁じ得ない」と強く批判した。

同様に与党セヌリ党は「侵略の歴史を美化し、北東アジアの緊張を高める安倍総理の靖国神社参拝をセヌリ党は強く糾弾し、深い遺憾の意を示す」と表明し、靖国参拝、歴史教科書の歪曲、集団的自衛権を正当化する試み等を中止するよう求めた。最大野党である民主党も「もはや [安倍総理に] 残されたものは孤立しかない」と批判した。翌日の 12 月 27 日には、与野党双方が安倍総理の靖国参拝を糾弾する決議の採択を提案し、与野党で決議の文言について調整を行った上で、「安倍晋三日本総理の靖国神社参拝糾弾決議」草案が国会外交統一委員会に提出された。

12 月 30 日に開催された外交統一委員会全体会議では、セヌリ党の沈允肇（シム・ユンジョ）議員が「集団的自衛権の行使については、既に別の決議を採択しており（本号【各国議会】日本関係情報参照）、敢えて集団的自衛権の問題を再び含めるのは焦点がぼやけることになると考えるため、靖国神社参拝の問題に絞って決議を採択するのが望ましい」との意見を述べた。これに対し、安鴻俊（アン・ホンジュン）外交統一委員長は「与野党の協議の過程では沈議員の意見も考慮されたが、集団的自衛権の行使と靖国神社参拝はいずれも軍国主義の復活と関連した問題であるため、協議の結果、含めることになった」と述べ、沈議員の意見は少数意見として記録することにした。

また、鄭炳国（チョン・ビョングク）議員（セヌリ党）は「決議文に『人類の普遍的価値に対する挑戦又は否定』という文言が入るのが望ましい。それにより世界各国と共に協力する意思を盛り込んではいかがか」との意見を述べた。これに対して安委員長は、出席委員に異議の有無を確認した上で、決議草案第 2 項を一部修正して鄭議員の意見を反映することにし、これが外交統一委員長を提案者とする決議案として確定し、同委員会でも可決された。その後、12 月 31 日に開催された本会議において、同決議案は全会一致で採択された（以下筆者翻訳）。

決議の全文

主文

大韓民国国会は、去る 12 月 26 日、安倍晋三総理の靖国神社参拝がアジア周辺諸国に洗い流すことのできない傷を与えた過去の侵略戦争に対する真正なる反省がなく、むしろ侵略行為を美化するものであるという点から、これを強く糾弾し、

最近、積極的平和主義という美名の下に日本政府が推進している集団的自衛権の行使容認に向けた動きについて、北東アジア諸国が深刻な憂慮を表明する状況において、日本の総理が第 2 次世界大戦の A 級戦犯らが合祀されている靖国神社への参拝を強行したことは、最終的には日本政府が過去の侵略戦争を正当化し、軍国主義の復活を意図するものであって、朝鮮半島を含む北東アジアの平和と安定に明白な脅威となる行為とみなし、

我が国の国民を代表し、過去の侵略の歴史に対する真正なる反省なく行われる日本の総理による靖国神社参拝及び日本政府による集団的自衛権の行使容認に向けた動き等、時代錯誤的な行為に対し、嘆きと憤りの意思を明確に表明し、日本政府が我が国をはじめとする国際社会の厳しい非難に直面するであろうことはもちろん、外交的な孤立を自ら招くことになるであろうことを厳重に警告するため、次のとおり決議する。

1. 大韓民国国会は、安倍晋三総理の靖国神社参拝が未来志向的な韓日関係の構築及び北東アジアの平和と安定に深刻な否定的影響を誘発する外交的な挑発行為とみなし、これを強く糾弾する。
2. 大韓民国国会は、日本の総理による靖国神社参拝及び日本政府による集団的自衛権行使容認の動きについて、過去の侵略戦争を美化し、軍国主義の復活を企図するものとみなし、日本政府が朝鮮半島を含む北東アジアの平和と安定を脅かし、人類の普遍的価値を否定する時代錯誤的な行為を直ちに中断し、過去について真正なる反省と責任ある姿勢を持たなければならないことを厳重に警告する。
3. 大韓民国国会は、我が政府が安倍晋三総理の時代錯誤的な靖国神社参拝及び日本政府による軍国主義復活の企図に対し、断固たる意思をもって厳重に対処するよう求め、[韓国政府が] 我が国民の嘆きと憤りの意思を盛り込んだ大韓民国国会の決議を尊重し、日本政府に対して外交的努力を傾け、[日本が] 再び過去の侵略の歴史を否定することがないよう [韓国政府が] 正すことを求める。

参考文献(インターネット情報は 2014 年 1 月 21 日現在である。)

- ・「정부 “아베 야스쿠니 참배, 개탄과 분노 금할수 없어”
<<http://korea.kr/policy/diplomacyView.do?newsId=148771718>>
- ・「민현주 대변인 현안관련 서면 브리핑[보도자료]<http://www.saenuriparty.kr/web/news/briefing/delegateBriefing/readDelegateBriefingView.do?bbsId=SPB_00000000536963>
- ・「배재정 대변인, 오후 현안브리핑<<http://minjoo.kr/archives/94669>>
- ・「제 321 회국회(임시회) 외교통일위원회회의록(임시회의록) 제 4 호」
<<http://likms.assembly.go.kr/record/index.html>>より
- ・「아베 신조 일본 총리의 야스쿠니 신사 참배 규탄 결의안」<http://likms.assembly.go.kr/bill/jsp/BillDetail.jsp?bill_id=PRC_L1Y3Z1F2Q3W0S1Z2N1T3E2M0D2A8T6>